

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名【新】消防団員技術力向上事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課 企画係 電話番号：058-272-1111(内2882)

E-mail：c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,319 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,319	0	0	0	0	0	0	0	1,319
決定額	1,319	1,319	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

消防団員のヒアリングやアンケートによると、消防操法の習得に向けた繰り返しの訓練等によるケガや身体の疲れがあるため、身体ケアについて学びたい、又は、災害対応のための図上演習等の研修を受講したいといった希望、消防操法の重要性に対する理解の必要性など、団員の基礎力を向上し、活動をより良くするための意見が多く見られる。

活動現場の悩みや希望に応じた研修を実施することで、団員の基礎力向上を図り、人口減少の中にあっても、消防団活動を将来的に持続可能なものとする。

(2) 事業内容

○フィジカル強化、身体ケアに関する研修

県内企業と連携し、消防団員に特有の動きを踏まえたトレーニングについて実技を交えた研修（可動域拡大、活動後のケア等）を行った上で、実践の継続のためのインセンティブを付与。

○災害に関する研修

災害に関する基本的な知識及び対応について、座学、図上演習等を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内統一的に研修を実施することで、県内の消防団の基礎力向上、ひいては地域防災力の向上を図る。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	45	職員旅費（打合せ、現地確認等）
消耗品費	20	研修資材
委託料	1,098	民間フィットネス・ヘルス関連事業者への委託（研修及び実践継続インセンティブ）
報償費	156	講師料
合計	1,319	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期岐阜県強靱化計画 第1章 強靱化の基本的考え方針

3 強靱化を推進する上での基本的な方

(1) 本県の特性を踏まえた取組推進

(3) 防災教育・人材育成と官民連携の取組推進

(2) 国・他県の状況

類似事業なし

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

全県的に消防防災力の向上を目指すものであるため、県が主体となって実施することが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

団員数が減少傾向にあっても必要な機能を維持できるよう、団員確保に向けた負担軽減と併せて技術力向上に取り組むことで、減災に最も必要な自助・共助の両側面を有する消防団の機能を充実強化し、地域防災力の維持・向上を図り、発生が懸念される南海トラフ巨大地震等大規模災害時における安全・安心な地域づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						達成率
消防団員の条例定数に対する充足率	91.6%	91.6%	98.0%	98.0%	98.0%	90.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 受講した団員が所属する団に持ち帰って共有を図る際に、これをより効果的に行うための手段について検討していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 団員が年々入れ替わる中で定着させていくためには、一定年数、継続して取り組むことが必要。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	